



中田 國太郎 選 投稿数15首

われの着た紋付袴を孫が着て成人式に凜と出で立つ 皆野 新井 茂

(評) 親子の断絶とか、家族の崩壊とかによつて、痛ましい悲劇が多発している現代社会の中で、ほのぼのとした家族愛に包まれ、頼もしい若者に成人した姿が浮かぶ、いい歌である。この歌のポイントは「凜」とに作者の気持ちが込められ、歌の光になっている。作者が若き日の思い出を秘めて大切に保管していた紋付と袴を着て、背を伸ばし、すがすがしい若武者のごとくに成人式に出かけた姿が彷彿と浮かぶのである。

新作、平成の大合併により、古くてよき地名がぎえていく寂しさがにじむ。

はつ春の郷の山河はそのままに村の字消えて時代は変わりぬ 三沢 新井 民子
 あな嬉し妻は八十路の仲間入り五つ先行く吾と迎春 皆野 金子善次郎
 三ヶ日朝のうどんを打ち供う家例守れるもわが幸とせり 三沢 真下 杏子
 青春の夢大にして箱根路は汗と涙の感動の樺 皆野 山田 雅子
 母在す思ひに独り迎えたる晦日の蕎麦を陰膳となす 皆野 笠原三三子
 三夫婦のよるこび極めし年頭にいく久しくと念じ祈りぬ 皆野 新井 愛子
 みな老いて広報配る回り番つらいと言ひし村の山坂 上日野沢 四方田利男
 昨夜の雨上がり山頂に朝日射す新たな年に意欲わきくる 三沢 新井 叶子
 古稀となり同窓会や草津宿丸く輪になり笑顔の会話 三沢 横田 龍雲
 人々はそれぞれの思い胸にして心新たに初詣での初春 皆野 塩田 千代
 夢かなふ二千七猪は景気上々突つぱしり行く 皆野 吉岡 ヨシ
 稜線のダイヤの初日呼こんで健康と平和祈りつつ立つ 野巻 林 武義

引間 豊作 選 投稿数24句

学童の歩幅のそるふ霜の朝 下田野 藤原 道男

(評) 揚句の作者は、どう見ても未だお爺さんと呼ばれる齡ではあるまい。と言うのは江戸時代より現在までの霜の句を多くと、どうしても老境に達した方は、夜の霜を句材にした作品が多いように思われる。さておいて春になり蝶や草花が道を彩り、夏には蛙や蜻蛉がみちくさを食う相手になつてくれ、草むらには虫の声を聞く秋など、通学の子を止める材料に事欠かないが、世相も昔と変わり登校児童も保護者も神経を使つて時代、従つて学童は昔のように霜柱を踏みつけて崩れる意は、はやくとなく繁と歩む。これを見送る同行の作者の姿が凜としてうかぶ。

万両の赤のほどよき実を数ふ 産土の庭火を囲み去年今年 下田野 根岸 進
 下日野沢 田端 マサ 墨の香も少なくなりし年賀状 三沢 沢野 恒平
 山峡の初日おろがむ掌を伸しつ 皆野 植竹美恵子 三沢 新井 茂
 舞ふ枯葉寮の昼餉の窓のぞく 初詣宝登という名に惚れてゆく 皆野 龍雲
 ハムスター連れし年賀の一家かな 三沢 真下 杏子 正月や妻打つそばが味を増 三沢 横田 龍雲
 記憶繰りお手玉作る炬燵かな 皆野 大沼シヅ子 臘梅や梅の眠を置いて咲く 三沢 田中 利章
 家族等と手相に燃える夜長かな 金崎 設楽 武子 三沢 中 利章
 ひらき焼く朝の厨に初暦 上日野沢 四方田利男

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 企画課へお寄せください。限りありません。

8日必着 1人1句、1首

解の違いを感じました。スーパーの買物袋も客が買わなければもらえません。町の緑の箱はいくつものゴミの種類に分別されています。家庭のゴミ収集の袋は、税金で賄われているのです。今問題になっているのは、外国人がゴミ処理をきちんとしない事だと聞きました。日本の事情が気になり資料をみると、国民一人に一万八千三百円のゴミ処理費用が、税金から賄われている事が解りました。私達の生活や安全を守る為に、大切な税金が使われています。少子化・高齢化の進んでいる日本では、小・中・高校生の教育費や老人の施設・医療を充実させる為、消費税の値上げを考える必要があるのではと思いました。資料から、EU諸国の消費税が15%以上に決められている事を知りました。ドイツの消費税は16%です。給料の30%を占める所得税を納める人もいます。六十五才からは、収入の七十%の年金を受け取る事が出来るそうです。また、ドイツには、日本と同じく素晴らしいお城が多くあります。城や遺跡の保護も税金によるものです。

福祉の充実したドイツでは、ボランティア活動も自然に、活発に行われています。大きな四つの都市には真つ黒なレストラ「ウン・ジツヒト・バー」という視覚障害者と同じ体験の出

来る所があり人気があります。多くの人が障害者の気持ち味わい勉強します。大変充実した福祉があるからこそ、助け合いの豊かな心が生まれるのです。日本人もこれを見習いスマートなボランティアの方法を学ぶ必要があると思います。

ドイツ旅行では税金や環境を考える事が出来ました。リサイクルではドイツ、ゴミ処理の技術は日本が高いと思いました。今後日本の良さを、日本らしさを役立てる事が大切です。又、ドイツの暮らしにふれ、洋の東西を問わず「税金を有効に大切に使う」為に税の重要な働きを理解する事が必要だと感じました。物の豊かな日本で、心豊かな温かな生活を可能にする為の新しい税の方策も必要です。諸外国の良い所を積極的に取り入れ、日本人・地球人として安心で平和な社会を築いていける様な立派な社会人に私も早くなりたいと考えました。税の仕組みやそれに関する政治の仕組みについても学んでいきたいです。

(ご家族からのコメント)

他の皆中生の皆さんと共に、表彰式に参加させていただき嬉しく思います。立派な賞を受賞できたのも、先生がたの大変熱心なご指導があったからです。3年間、子どもたちを温かく見守っていただき本当にありがとうございました。